

## ホロベツ園地再整備事業について

斜里町

### 1. 前回適正利用・エコツーリズム検討会議（2/7）以降の進捗について

ホロベツ園地再整備事業については、R6年度に展望台の改修を予定していたが、地域関係者向け説明会において基本計画に関する町の内容説明が不十分であること、地域の意見を広く反映した内容となっていない等の意見が多く出され、あらためて地域の意見を集約した結果、地域合意を得るには時期尚早と判断し、令和6年度のフレペの滝展望台の改修を見送ることとした。

前回のエコツーリズム検討会議において、ホロベツ園地基本計画は、エコツーリズム検討会議の枠組みを軸にしつつ、関係行政機関、地域を含めた協議の場において再検討することとしていた。

昨年度、最終段階で地域の合意が得られず当初の計画を断念した経緯を踏まえ、今後の地域との協議についてはまず、ホロベツ園地に係るコアメンバーで構成する「ホロベツ園地再整備検討会」において現状と課題の整理、ホロベツ園地の目指す姿などの方向性について協議し、その内容をもとに次の段階として地域の全体会議である「(仮称)ホロベツ園地あり方協議会」を設置し、丁寧かつ慎重に議論を進めていきたい。

### 2. 検討会の開催状況

- ・開催日：令和6年5月15日（水）
- ・出席者：ガイド協議会、知床斜里町観光協会、知床財団、斜里町（商工観光課・環境課）  
計9名
- ・内容：町が策定した基本構想、基本計画をもとに、ホロベツ園地の現状と課題、ホロベツ園地の目指す姿など、主に下記の項目について意見交換を行った。
  - 1) ホロベツ園地の新たな魅力について
  - 2) ヒグマ対策・冬期利用について
  - 3) 新たな仕組みづくり
  - 4) 展望台の着工

(出された主な意見)

項目	意見内容
ホロベツ園地の新たな魅力について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用のバリエーションを増やすことが新たな魅力創出につながる。</li> <li>・展望台～ウトロ灯台～新規遊歩道を周回するイメージで、灯台を活用できるとよい。</li> </ul>
ヒグマ対策・冬期利用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒグマ出没のため利用機会が減少しており、避難場所、休憩所としても利用できる展望台の整備が必要である。</li> <li>・インバウンド対策として冬の利用も重要である。どのような</li> </ul>

	利用を想定するか。
新たな仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は、知床五湖もフレペの滝も、ヒグマ出没時には閉鎖となるが、フレペの滝を安全に利用するには、どう整備していくかという観点が必要である。遊歩道ルートだけではなく、運用にも関係してくるため、10年先を見据えた運用検討が必要である。</li> <li>・ヒグマ出没時、ガイド利用者は利用可能とし、完全な閉鎖とはしないなどの新たな仕組みづくりについて検討が必要。</li> <li>・仕組みとして整備して、何年も継続すると文化として定着する。知床でどのように文化をつくっていくのか。</li> <li>・仕組みづくりにおける課題について、ガイドの体制にもよるが、ガイドが増えていけば、ガイドコンシェルジュを担える。</li> <li>・自然センターにて、ヒグマレクチャーを受けることを必須とするためにも、自然センターに必ず行く導線は大切である。センターの入口がわかりづらいため、誘導を意識し、例えば床面に矢印表示するなど、制度を変える前にやれることはあるのではないか。</li> <li>・安全管理の仕組みについて、エコツーリズム検討会議にて意見をいただきたい。</li> <li>・施設整備と運用は両方大事であり、セットで検討していく必要がある。</li> </ul>
展望台の着工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展望台改修について、地域の声でいったん白紙となっている。町としてのスケジュール感はどうなのか。</li> <li>・昨年の議論で、どの部分に異論が出されたのか。運用や安全管理が問題なのか。何が支障だったのかを明確化しないとスピード感を持ってない。</li> <li>・丁寧さとスピード感を持って事業を進めていくべき。</li> </ul>

### 3. 今後の予定

- ・9月下旬頃、第2回ホロボツ園地再整備検討会を開催予定。今回出された意見（ヒグマ対策の仕組みについて、展望台整備）について検討を行う。
- ・10月下旬頃、第2回エコツーリズム検討会議にて協議内容を報告予定。
- ・来年3月頃、ウトロ地域の関係団体、関係行政機関により構成する「(仮称)ホロボツ園地あり方協議会」を開催予定。
- ・なお、知床エコツーリズム戦略に基づく検討部会設置の提案については、「(仮称)ホロボツ園地あり方協議会」での議論を踏まえてからとし、検討会議において、ヒグマ対策の仕組みづくりについて意見をいただきたいと考えている。